

O's News

2022

11



パーキンソン病の症状が超音波で改善する時代

～適応拡大された集束超音波療法～

脳神経内科医長 小坂田 陽介

パーキンソン病とは体の動きをスムーズに制御することが難しくなる神経の病気で、主な症状は、ふるえ（振戦）、動作緩慢、筋強剛、姿勢保持障害です。ふるえは座って膝の上に手を置いているときなど、リラックスしているときにおこる振戦（安静時振戦）が特徴で、本態性振戦の振戦とは異なります。パーキンソン病の治療は薬物治療が基本ですが、薬物治療で十分な効果が得られない場合や、薬の効いている時間帯が短くなってきた時には手術療法が検討されます。従来は高周波凝固術（RFA）と深部脳刺激療法（DBS）の二種類の治療法がありましたが、近年は集束超音波療法が注目を集めています。

高周波凝固術（RFA）は脳内の異常神経回路を熱凝固により壊すことで、症状を軽減する治療法です。頭蓋骨に小さな穴をあけて熱凝固針を刺入し、治療部位を高周波で熱して凝固します。脳深部刺激療法（DBS）は脳内に電気信号を流して、異常な神経信号を調節する治療法です。頭蓋骨に小さな穴を開けて刺激電極、胸にペースメーカーのような刺激発生装置を植え込みます。いずれも脳組織に針のような金属を刺さなければいけない侵襲的な治療です。一方、集束超音波療法は超音波の振動で発生した熱により異常神経回路を破壊します。高周波凝固術（RFA）と同じ熱凝固手術ですが、超音波を使用するため頭蓋骨に穴を開けることはありません。それでは、なぜ熱凝固によってパーキンソン病の症状が改善するのでしょうか。

まず、パーキンソン病のふるえ（安静時振戦）は脳内の視床腹側中間核（Vim核）という神経核をターゲットとします。このVim核は本態性振戦の治療でもターゲットとなる神経



ジスキネジア

(手足が勝手にクネクネと動く)



動作緩慢

(体の動きが小さく、鈍くなる)



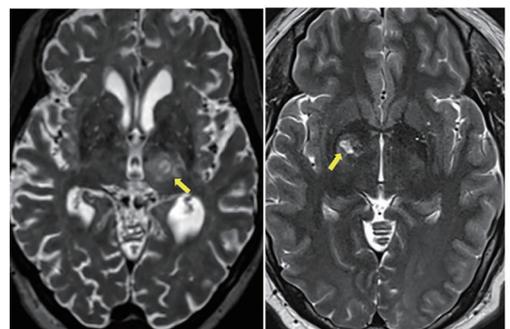
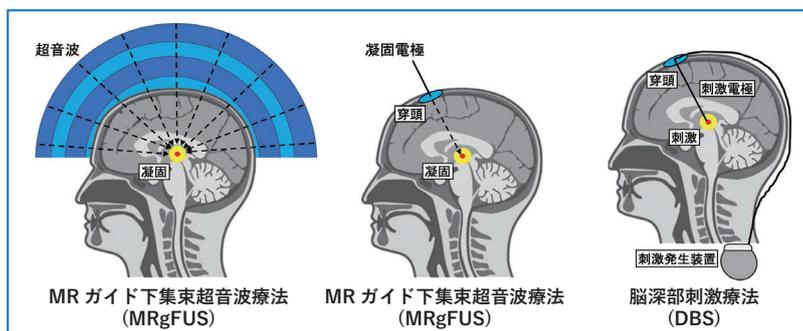
筋強剛

(筋肉が固くこわばる)

核です。ふるえの原因となる異常な神経ネットワークの中継点に位置するため、破壊することでふるえを止めることが出来ます。

次に、ふるえ以外のパーキンソン病症状に対する治療は淡蒼球内節（GPI）という神経核をターゲットとします。GPIは車と言えばブレーキのような働きをしており、正常では体の動きに適度なブレーキをかけて運動を調整しています。しかし、パーキンソン病ではドーパミンの分泌が低下することで、このブレーキがかかりすぎた状態になっています。この手術ではGPIを破壊、すなわちブレーキを壊すことによって、筋強剛や動作緩慢などの症状が改善するとされています。また、ジスキネジアという薬の副作用による異常運動に対しても効果的と言われています。

当院では2016年に集束超音波治療器を導入して以降、本態性振戦だけではなくパーキンソン病の治療についても力を入れて取り組んできました。もちろん、すべてのパーキンソン病患者さんが本治療の適応になるわけではなく、それぞれの患者さん毎に、その時の状況に合った最適な治療法をご提案させていただきます。切らずに治す最新の治療にご興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度ご相談下さい。



Vim核凝固術

GPI凝固術

脳卒中から大切な人を守りましょう

南3階病棟SCU 看護師 横山 哲平

脳卒中は日本人の死因第4位にランクインしている怖い病気の1つです。医療の進歩により死亡率は一昔前より減少はしているものの意識障害や麻痺などの後遺症が残ってしまう怖い病気であることに変わりはありません。今回は、そんな脳卒中から大切な人を守るキーワードを紹介します。そのキーワードは「FAST」です。FASTとは一文字ずつ「F」はFase(顔)、「A」はArm(腕)、「S」はSpeech(話)、「T」はTime(発症時間)の意味があります。

まずはFase(顔)です。脳卒中では顔のゆがみが出ることもあるため顔のゆがみを見ます。「いー」としてもらって顔のゆがみが分かりやすいです。

次にArm(腕)です。ここでは腕の動きがポイントになり、両手で前にならえのポーズをします。麻痺があると上げることができないか、上げることができてもすぐに下に落ちてしまいます。

3つ目はSpeech(話)です。ここでは呂律が回っているか、名前などの言葉が出てくるかがポイントになります。

4つ目はTime(発症時間)です。最初の3つの症状がいつから出ているかが重要になるので発症時間を確認しましょう。

脳卒中の治療は時間との戦いでもあります。発症してから限られた時間内にしかできない治療もあります。大切な人がいつもと違うなと感じたら「FAST」に当てはめ、症状があればすぐに119番し大切な人を守る行動を取れるようにしましょう。



不整脈からおこる脳梗塞

臨床検査科 臨床検査技師 中原 咲季

脳梗塞を発生させる原因のひとつに、不整脈(心房細動)があります。

不整脈が原因で起こる脳梗塞は、前ぶれもなく突然発症することと、脳梗塞の範囲が広いことが特徴で、身体の麻痺や意識障害を起こしやすいため、命に関わる危険な病気です。

不整脈(心房細動)があると、脳梗塞の発症リスクが5倍になるといわれています。

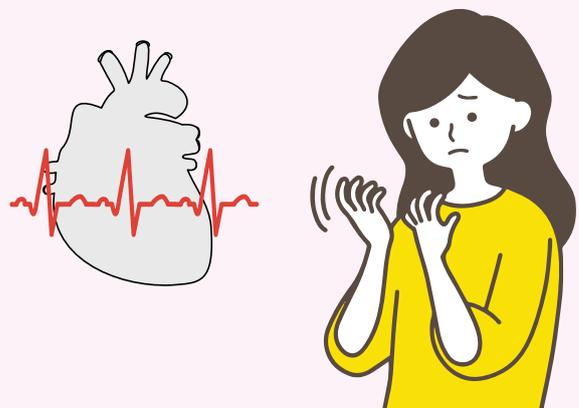
日常生活で急に胸がドキドキしたり(動悸)、脈が乱れていると感じたときには、心電図検査を一度受けていただくことをお勧めします。

心電図は簡便で患者様の負担も軽いため、多くの病院で検査を行うことができます。ですが短時間しか記録することができないため、不整脈の頻度が比較的に少ない場合や、朝方や夜間に症状が出る場合には、ホルター心電図という検査を行います。

ホルター心電図は、小型の機械を体につけて普段通りの生活をしていただきながら、心電図を24時間記録する検査です。心電図ではとらえられなかった不整脈や、1日のうちにどれくらい不整脈がでているのかなどが分かります。(当院では明石駅前クリニックでホルター心電図の検査を実施しています)

加齢とともに不整脈を起こす頻度は増加します。

脳梗塞の予防のためにも、自覚症状などがありましたら、一度ご相談ください。



二十四節気と七十二候のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

11月(霜月)

しもつき

北風、小春日和、時雨をくり返ししながら晩秋から冬へと季節は移ろいます。

十六節気

霜降

11/2~6(五十四候) 楓蔦黄 / もみじつたきばむ

秋の季語、紅葉に色どられる山々は「山粧う(やまよそおう)」。俳句の季語では春夏秋冬をそれぞれ「山笑う」「山滴る」「山粧う」「山眠る」と四季の山々を表現しました。コロナも落ちつき紅葉狩りにお出かけができそうですね。

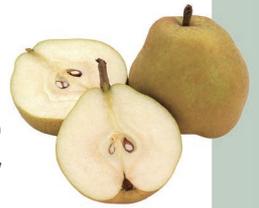


十七節気

立冬

11/7~11(五十五候) 山茶始開 / つばきはじめてひらく

つばきとは山茶花(さざんか)を表し、冬の始まりを告げる日本原産の花です。「さざんか さざんか咲いた道♪」童謡「たきび」でも歌われました。芳醇な香りの「洋梨(ラ・フランス)」。19世紀半ばでフランスで生まれた洋梨の品種。そのおいさを「我が国を代表するにふさわしい果物!」として「ラ・フランス」と名づけました。



11/12~16(五十六候) 地始凍 / ちはじめてこおる

木枯し一号のニュースが届き、いよいよ冬。酒蔵の軒先に吊り下げられた「杉玉」。「酒林(さかばやし)」と呼ばれる酒蔵、酒店のシンボルです。新酒の季節を迎え「新酒ができました」の合図として、新調されるのがならわしです。



11/17~21(五十七候) 金盞香 / きんせんかさく・きんせんこうばし

甘く漂う水仙の香りには、心を落ち着かせ、リラックスさせる効果が♪「金盞」とは「金の杯」という意味があり、金色の袴が美しい水仙のこと。季節の野菜「春菊」。食用として漢方としても古くから使用され、栄養素を豊富に含みます。独特な香り成分は「リモネン」。鍋にも重宝します。



子供の成長を祝う「七五三」の時代もその晴れ姿に、笑顔がこぼれます。



十八節気

小雪

11/22~26(五十八候) 虹蔵不見 / にじかくれてみえず

日差しも弱まり乾燥した空気のこの時期、虹を見ることはありません。「西吹けば 東にたまる 落葉かな 蕪村」地球上の森林の中で「落葉森林」は多くなく、紅葉が見られるのは東アジア、北米、欧州の一部に限られます。日本の紅葉の色の繊細さは、世界有数と言われます。



11/27~12/1(五十九候) 朔風払葉 / きたかぜこのはをはらう

北風が木の葉を吹き払います。おいしい「牡蠣フライ」♪秋の終わりから春にかけてぷっくりと肥りだす牡蠣シーズンの到来です。明治時代銀座の洋食屋、煉瓦亭が考案しました。

冬の到来を実感します。あたたかい鍋物がごちそうですね。冷えたいもポカポカ〜。

季節の野菜「にんじん」

セリ科ニンジン属

11月24日は「冬にんじんの日」。βカロテンが豊富になり、甘みも増して美味しい季節です。煮ても生で食べても内臓をあたため、血を補う働きがあり、βカロテンの抗酸化作用は、がん予防や老化防止にも効果があり、良い事尽くめ♪私たちに馴染み深いオレンジ色のにんじんは、江戸末期に、伝来した「西洋種」。甘味と香りの強い「東洋種」はお正月に出回る金時人参など。今夜の一品に「にんじんしりしり」や「にんじんラペ」など最近人気のお料理はいかがでしょう。



外来担当医表

(血)血管内治療 (顔)顔面の痛み・けいれん (FUS)集束超音波治療

		月	火	水	木	金
1 診	午前	大西	大西(宏)	久我	茶谷	河田
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	茶谷	河田
2 診	午前	高橋〈顔〉	砂田	角田	富士井	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	—	脊椎・脊髄外来 山本
3 診	午前	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	佐藤	担当医
5 診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	細川
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6 診	午前	—	脳神経内科 小坂田	脳神経内科 赤谷	脳神経内科 小坂田 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脳神経内科小坂田〈FUS〉	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 脳神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	第1・3週 脳神経内科 阿部

※診察受付時間:月～金 <午前>8:30～11:30 <午後>13:30～16:30

※毎週金曜日13:00～7診 麻酔科 鈴木

(2022.11)

※第1・3週金曜日9:30～12:30、13:30～16:30 6診 脳神経内科 阿部

連携協力医療機関のご紹介

No.249

はせがわファミリークリニック

院長:長谷川 智巳

【認定資格・所属学会】医学博士、小児科専門医・指導医、外科専門医・指導医、循環器専門医、集中治療専門医、脈管専門医、心臓血管外科専門医、成人先天性心疾患専門医、PALS(小児二次救命処置)インストラクター

所属学会:日本小児科学会、日本外科学会、日本循環器学会、日本小児循環器学会、日本集中治療医学会、日本重症心身障害学会

【診療科目】小児科、外科

【住 所】明石市大久保町茜2丁目4番9号 大久保茜クリニックモール

【電 話】078-939-3622

【公式サイト】<https://hasegawa-family.clinic/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00～19:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日:土曜午後、日曜、祝日



長谷川院長からのメッセージ

全国でも有数の小児科と外科2つの基本領域の専門医・指導医です。お子様が笑顔で元気に過ごせるように、ご家族が安心して子育てできるように心を込めて取り組んでいます。

No.250

齋藤整形外科

院長:齋藤 富彦

【認定資格・所属学会】日本整形外科学会 専門医、臨床研修指導医、日本整形外科学会、日本人工関節学会

【診療科目】整形外科・リハビリテーション科

【住 所】明石市大久保町八木111-3

【電 話】078-935-3110

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	/	○	○	☆	/
15:30～19:00	○	○	/	◎	○	☆	/

◎木曜 14:00～17:30 ☆土曜 9:00～15:30

休診日:水曜、日曜、祝日



齋藤院長からのメッセージ

骨粗鬆症の診断・治療や、関節痛、腰痛等にリハビリを含めた治療も行い、皆様の健康を守る手伝いをさせていただきます。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

